

公共財

松島格也

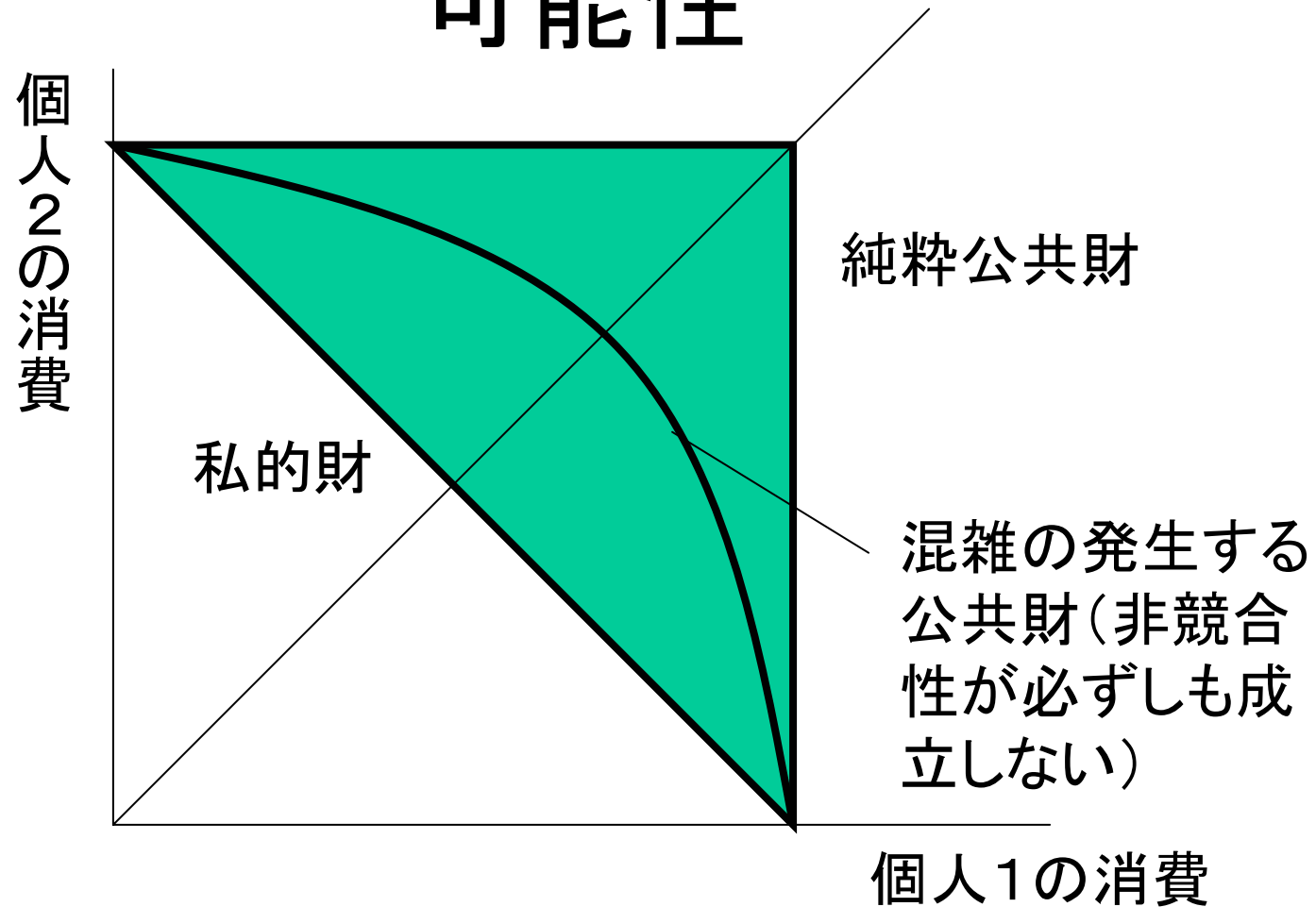
kakuya@psa.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

Rm.331

公共財の持つ性質

- 非競合性（消費の集合性）
 - ある人の消費によって他の人の消費が妨げられない
- 排除不可能性
 - 料金を支払わない人を財やサービスの消費から排除することが出来ない

消費における非競合性と排除不可能性



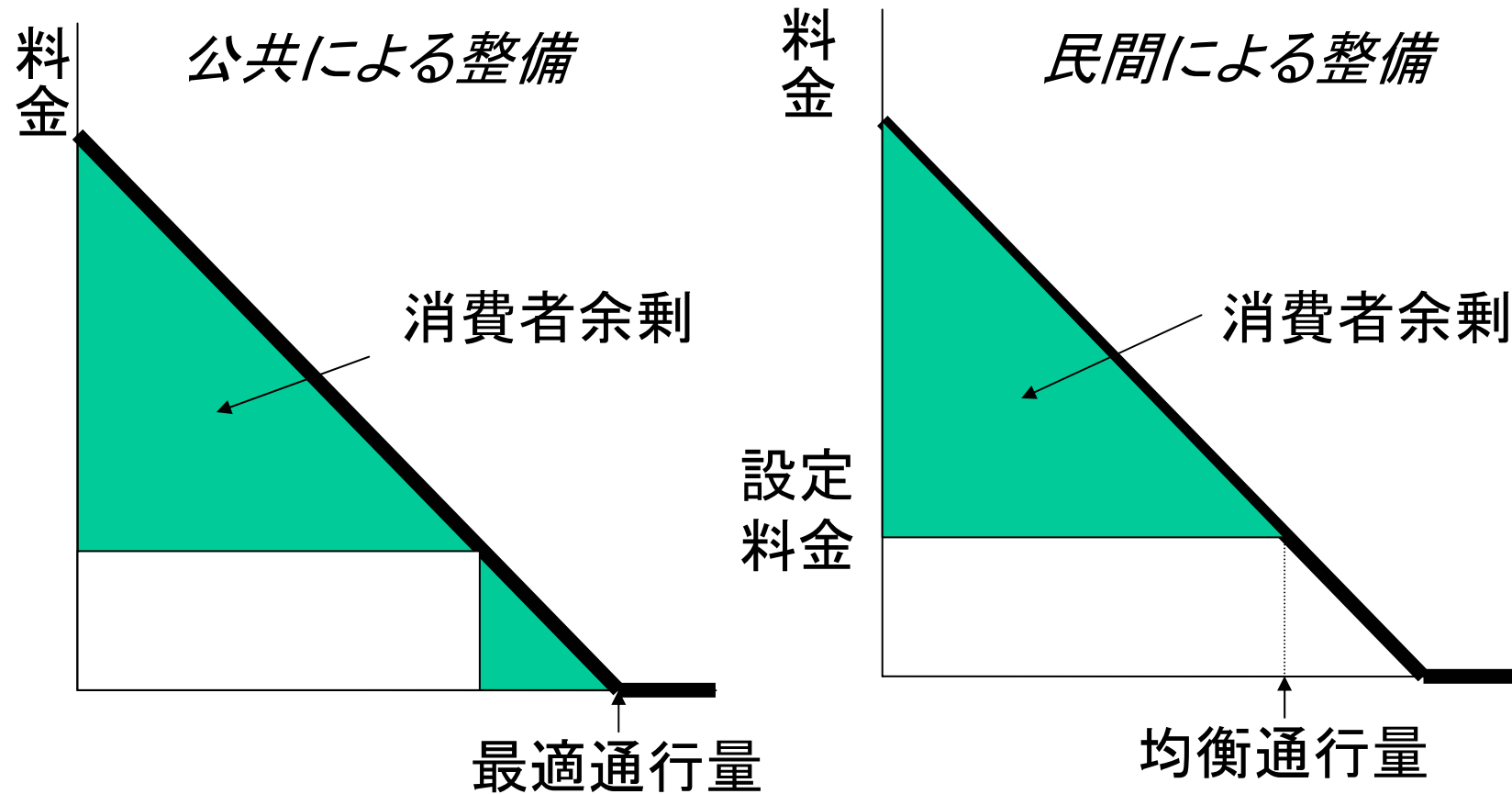
公共財と市場の失敗

- 非競合性
 - 私的に供給される場合, 過少供給または過少消費
- 排除不可能性
 - フリーライダー問題
 - 私的に供給される場合, 過少消費

公共財の最適生産

- 限界費用＝限界便益
 - ただし, 限界便益は社会的限界便益＝個人の限界便益の和を表す
- Cf.私的財の場合
 - 個人の限界便益＝限界費用

公共財に対する支払



過少利用から生じる非効率性 vs 税金のもたらす資源配分による非効率性

フリーライダー問題

- 二人のルームメイトがテレビを購入するかどうか検討
- 二人ともテレビに10,000円の価値
- テレビの費用は15,000円
- 二人とも独自に意思決定（相談はしない）
- 果たしてテレビは購入されるか？

ゲーム理論による分析

		プレイヤーB	
		買う	買わない
プレイヤーA	買う	25,25	-50,100
	買わない	100,-50	0,0

- ナッシュ均衡は(買わない, 買わない)
- パレート最適は(買う, 買う)

非競合性と排除不可能性の関係

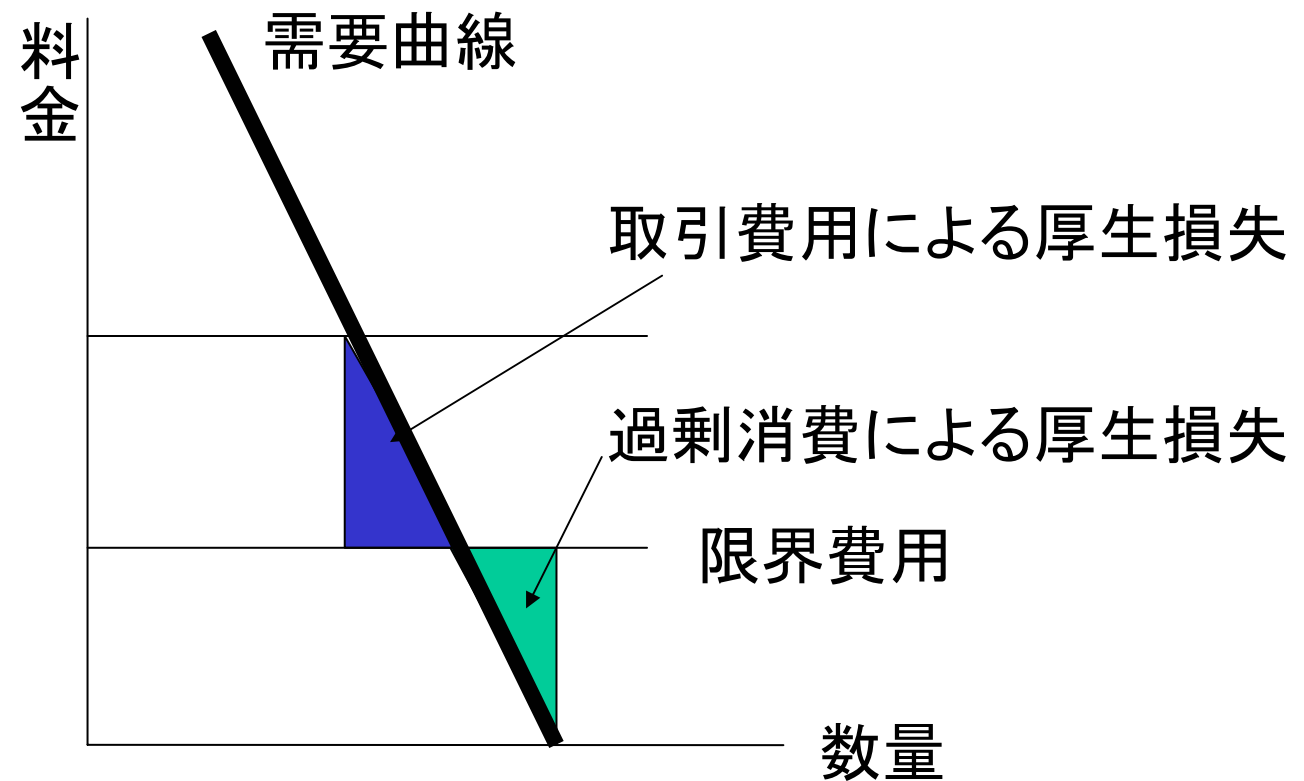
	非競合的	競合的
排除不可能	国防・堤防	司法・一般行政サービス
排除可能	自然公園・高速道路・情報や知識	私的財

排除可能な非競合的財の場合，社会的観点から政府が公共財として供給する方が望ましい場合もある

公共財と公的供給財

- 公的供給財：公的主体によって供給される財やサービス
- 公共財以外を公的に供給する必要性
 - 所得分配上の考慮：公営住宅
 - 独占と費用逓減：鉄道や電話
 - 外部経済：教育
 - 非弾力的な需要：水道

資源配分上の歪み



公的に供給される私的財の割り当て方法

- 過剰消費を制限するため割り当て方法を導入
 - 利用者料金
 - 長所: 便益を受ける人が費用を負担
 - 短所: 結果的に過少消費, 価格システム管理のために取引費用が必要
 - 一律的な供給
 - 長所: 取引費用の節約
 - 短所: 異質性に対応不可能
 - 待ち行列
 - 長所: 財の配分が所得と無関係
 - 短所: 時間が無駄

		消費における排他性						
		排除不能	排他性 全くなし	混雑現象 あり得る	所得分配 上の考慮	独占・費用 逓減	外部経済	被弾力的 需要
公的供給財	公共財	経済社会の基本的枠組の設定(立法,司法,貨幣制度運用)	○	○				
		国防,外交	○	○				
		一般行政サービス, 警察, 消防	○		○			
		基礎科学の知識	○	○				
		堤防, 街路, 一般道路, 橋, 都市公園	○		○			
	排除可能財	公的低家賃住宅			○			
		高速道路, 長大橋, 自然公園			○	△		
		教育			△		○	
		鉄道, 公営交通, 下水道, 大規模宅地開発			△	○	△	
		上水道				○		○
私的供給財	共同消費財	電力, ガス, 私鉄				○		
		民間放送	○	○				
		特許や著作権で保護された情報や知識		○				
		特許や著作権で保護されない情報や知識	○	○				
		地域的公共財			○			

(注)○は主要な該当個所,△は副次的な該当個所

2006/10/18

野口(1984),「公共政策」より加筆修正 13

公共財供給の決定メカニズム

- フリーライダー問題を解決するためには？
 - 人々に真の選好(評価額)を表明させる
- リンダール均衡: 公共財の生産に関する費用の分担率を定めて公共財の需要を各個人に表明させ、これらが等しくなるまで調整を行う
 - 均衡は必ず存在, かつパレート効率的
 - 個人は正直に選好を表明するか?

まとめ

- (純粹) 公共財は消費の非競合性と排除不可能性を持つ財
- 消費が非競合的であるとき, 私的に供給された場合, 過少消費か過少供給のいずれかまたは両方が生じる
- 排除不可能な場合, フリーライダー問題が発生し, 一般的に市場によって供給されない